



2022年8月5日

各 位

会 社 名 フ ル テ ッ ク 株 式 会 社  
代 表 者 名 代表取締役社長 古野 重幸  
社長執行役員  
(コード番号：6546 東証スタンダード 札証)  
問 合 せ 先 取締役専務執行役員 田中 康之  
管理本部長兼経営企画室長  
( TEL. 011-222-3572)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年2月10日に公表した2022年12月期の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2022年12月期連結業績予想数値の修正 (2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,480	540	560	350	65.21
今回発表予想 (B)	12,000	40	120	80	14.90
増減額 (B-A)	△480	△500	△440	△270	
増減率 (%)	△3.8	△92.6	△78.6	△77.1	
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	11,506	628	671	436	81.34

#### 2. 修正の理由

2022年12月期より工事損失引当金の見積り方法を変更しましたが、工事損失引当金繰入額が当初の見込み80百万円から230百万円程度に大幅に増加する見込みです。これは新規工事において競合他社との競争激化により大型赤字物件が増加したことによるものです。また、材料費の高騰や連結対象子会社の工場稼働率が低下したことも収益悪化の要因となっております。

リニューアル受注についても当初計画を達成するために首都圏を中心とする関東エリアにおいて営業人員の強化を進めましたが、採用難より十分な戦力強化を図ることができず、当初計画を下回る見込みです。よって連結業績予想数値を上記のとおり修正いたします。

なお、セグメント別の状況は下記のとおりであります。

##### (1) 自動ドア関連事業

##### ① 工事損失引当金繰入額

採算性の低い受注物件の増加により、当初の見込みより工事損失繰入額が30百万円程度増加し、それに伴い利益が減少する見込みであります。

② リニューアル部門

トータルリニューアルの推進によって、リニューアル売上は2,630百万円（前期比6.0%増）を見込んでいるものの、当初計画2,835百万円（前期比14.2%増）を下回る見通しであり、それに伴い利益が減少する見込みであります。

(2) 建具関連事業

採算性の低い受注物件の増加により、当初の見込みより工事損失繰入額が120百万円程度増加し、それに伴い利益が減少する見込みであります。

3. その他

今回の業績予想の修正に伴う配当予想の修正はございません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想と異なる可能性があります。

以 上